

土浦市日記その 2

[原 真一](#)

茨城県土浦市に移り住んでからもうすぐ 1 年になる。前回の報告から大分、日が経ってしまったが、以下 2 回目の報告をしたい。

前日も書いたが、人口動向ではつくば市に押されて、土浦市は退潮傾向にある。前回小売動向について書いた。その後判ったことだが、以前、土浦駅前には、丸井と西友もあったが撤退した。西友はマンションに建て替えられ、丸井は今も空いた建物のままである。前回、土浦駅前にはイトーヨーカドーがあることをご紹介した。イトーヨーカドーは、土浦市が出資した第 3 セクターの建てたビルの中に入っている。私が住んでいるアパートは無料 C A T V を通じた視聴になっていて、地元 C A T V のチャンネルで市議会の録画を放送している。それを見ていたら、議員が前述の第 3 セクターの事業状況について市長に質問していた。それは、イトーヨーカドーは今後の事業計画で不採算店の閉鎖を検討しており、土浦店は名前こそ挙がっていないものの不採算のグループに入っており、撤退する可能性がある、というものであった。これに対し、市長は全面否定せず、イトーヨーカドーと今後も友好的な関係が続くよう努力する、と答弁していた。このように、非常にお寒い状況にあると言えよう。

暗い話ばかりだが、茨城県では平成の大合併が各所で行なわれ、郡部が多数の市に生まれ変わり、土浦市も今年 2 月 2 0 日付で新治村と合併した。しかし、合併で増えた人口は約 9 千人である。

土浦で日本一といえばレンコンである。そのレンコンを生かそうと、色々な商品が開発されているが、代表的なのが「蓮根どら焼き」である。まあ、味がどうこうなる訳ではなく、しゃきしゃきした食感が特徴という代物である。使用しているレンコンは加熱されていない生なので、冷蔵保存で 3 日しか持たず、正直お土産としては適していない。全国的にはワカサギも有名であろう。ワカサギを使ったものでは佃煮も名産として各所で売られているが、土浦でしか味わえないものに「焼きわかさぎ」がある。ワカサギ本来の味が楽しめ、少し苦味があるので、日本酒のおつまみとして良く合う。これも日持ちしないので、お土産には適していないのが残念である。

第 2 次産業を見ると、市の北部には、46 社が操業する土浦・千代田工業団地がある。市は、さらに新たな工業団地であるテクノパーク土浦北と東筑波新治工業団地への企業誘致を促進しようとしているが、これも前述の市議会での質疑を聞いた限りでは、現状うまく進捗しているとは言い難いようである。

今回は産業全般についてご紹介した。次回は産業以外のよもやま話をしたい。